

営農技術情報

～トマト 裂果対策～

平成29年 8月 29日発行

日高農業改良普及センター日高西部支所
Tel.01457-2-2055

今晚から明朝にかけて最低気温が12℃を下回る予報が出ています。
ハウス内温度を確保するために、早めに閉めましょう。

1 裂果に注意！

夜温の低下により裂果が発生しやすくなっています。

【原因】

- ①夜間が12℃以下になり昼夜の温度較差が大きくなる
- ②土壤水分の急激な変化。

【対策】

- ①保温～ハウス内の最低気温が12℃以下にならないように、ハウス内の保温を行う。
- ②追肥～徐々に追肥量を減らし、収穫終了予定時期の1～1.5ヶ月前に追肥を打ち切る。
- ③かん水～土壤状態に応じ、少量のかん水を行う。

2 うどんこ病に注意

うどんこ病の蔓延が散見されます。早期発見・防除に努めましょう。

【原因】

- ①ほ場周辺の雑草（アカツメクサ、アカザ、ギシギシ等）に発病している場合にハウス内にも感染する。
- ②高温乾燥条件に加え、昼夜の温度較差により多発する。

※ 農薬を散布する際には、ラベル等を必ず確認し、作物登録、希釈倍率、使用回数、散布水量、有効期限などを守って適正に使用しましょう。

農薬使用基準は遵守しましょう！
